

#総合診療



今月の連載関連本



器質か心因か

尾久守侑＝著

本体 2,000 円＋税／A5 変形・126 頁／中外医学社／2021

今回の臨床解説 (p.257) のタイトル「器質か心因か」は、本書にリスペクトを表して。

内科診療のなかで、明らかに心理的な反応にみえる身体症状の背景に、身体疾患が隠れているのを経験することはないだろうか。「器質か心因か」を巡る状況は、内科医にとって非常にコモンな診療場面であるにもかかわらず、そのアプローチについては意識が向いてこなかった。そこで本書では、精神科の世界で古くから報告されてきた概念である「心理的加重」を紹介する。器質因があると心因反応がより起こりやすくなる現象への理解は、内科医の臨床レベルを数段向上させるだろう。